

# 目次

日本語版への序	一
感謝のことは	四
原著者序文	五
凡例	八
第一章 われわれは正気か？	一五
第二章 病的な社会とは？	二五
——常態における病理学——	
第三章 人間の状況	三三
——人間主義的な精神分析への鍵——	
人間の諸欲求	四四
——存在条件から生じた人間の諸欲求——	
A 外とのつながりと自己陶醉	四七
B 克服——創造と破壊	五三

C	固着——友愛と近親愛	………	一七〇
D	同一感——個人化と集団への一致性	………	一七〇
E	方向づけと信仰の枠組を求める欲求——合理と非合理	………	一七三
第四章	精神の健康と社会	………	一七六
第五章	資本主義社会における人間	………	一八〇
社会的性格	………	一八〇	
資本主義の構造と人間の性格	………	一八四	
A	十七世紀と十八世紀の資本主義	………	一八五
B	十九世紀資本主義	………	一八七
C	二十世紀の社会	………	一八四
I	社会のおよび経済的变化	………	一八四
II	性格学的变化	………	一八三
a	量化、抽象化	………	一八三
b	疎外	………	一八四
c	他の種々相	………	一八六
1	匿名の権威——同調	………	一八六

2	欲求不満をおこさないやり方	一八
3	自由連想と自由会話	一九
4	理性、良心、宗教	一五
5	労働	二〇
6	民主主義	三一
III	疎外と精神の健康	三八
第六章	さまざまの他の診断	三七
	十九世紀の診断	三六
	二十世紀の診断	三七
第七章	さまざまの解答	三三
	権威主義的偶像崇拜	三六
	超資本主義	三七
	社会主義	三七
第八章	正気への道	三〇
	一般的な考察	三〇

經濟的變化	三二
A 社会主義の問題点	三二
B 共産主義的社会主义の原理	三七
C 社会心理学的反論	三二
D 動機となる利益と参与	三五
E 實際的な示唆	三〇
政治的變化	三七
文化的變化	三三
第九章 要約——結論	三三
訳者あとがき	四五

## 索引

